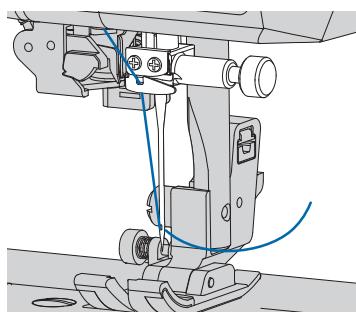
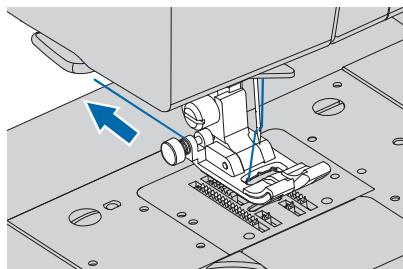


⑥ 糸通しレバーを放します。

針穴を通った糸が輪になっている場合は、輪を引っ張って糸端を引き出してください。

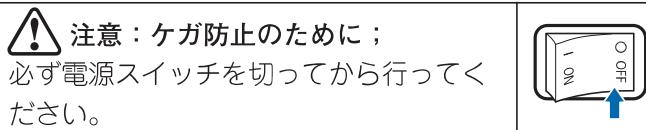


⑦ 押えの下に糸を通し、10 cm ほど後ろへ引き出します。



押えの取りかえ方と押えホルダーの取り外し・取り付け

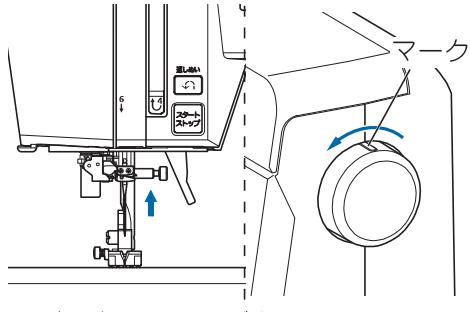
ミシンを使っていると、押えの交換や押えホルダーの取り外し・取り付けをする場面があります。ここでは、その方法を説明します。



◆押えの取りかえ方

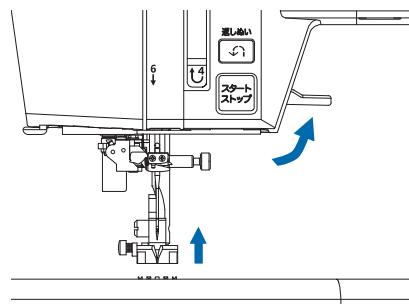
押えは、ぬいの種類や用途によって使い分けます。それぞれのぬいに適した押えについては、37 ページからの「いろいろなぬい方」を参照してください。

① ハズミ車を手前に回して、針を上に上げます。

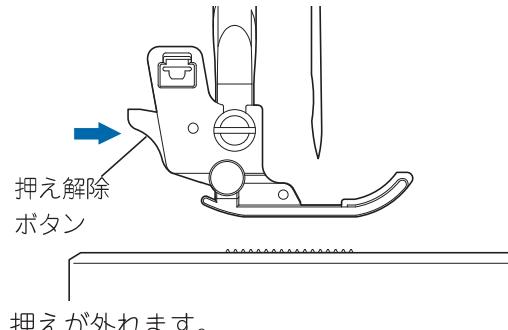


ハズミ車のマークが上になります。

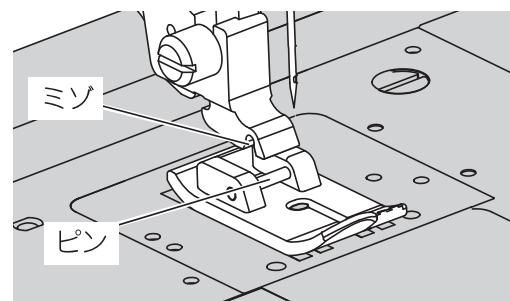
② 押え上げレバーを上げます。



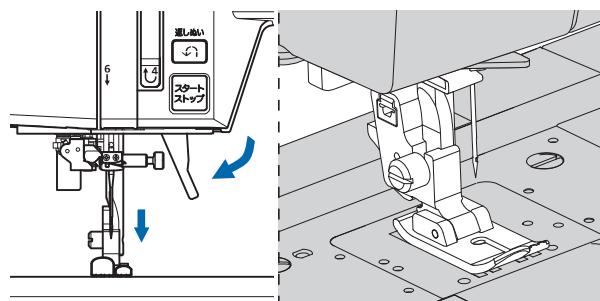
③ 押え解除ボタンを押します。



④ 交換する押えのピンを押えホルダーのミゾの真下に合わせます。



⑤ 押え上げレバーを下げます。



ピンがミゾにはまります。

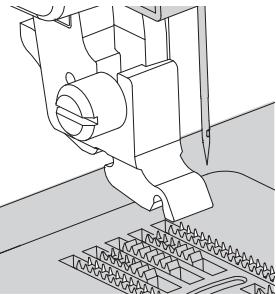
もし、完全にはまらないときは、押え解除ボタンを押してみてください。

◆押えホルダーの取り外し・取り付け

お手入れをするときや、キルティング押え、上送り押え（別売り品：72、73ページ参照）を取り付けるときは、押えホルダーを外します。

●取り外し

- 押えを外します。



24ページの「押えの取りかえ方」参照

- 付属の針板用ドライバーで、押えホルダー止めネジをゆるめます。



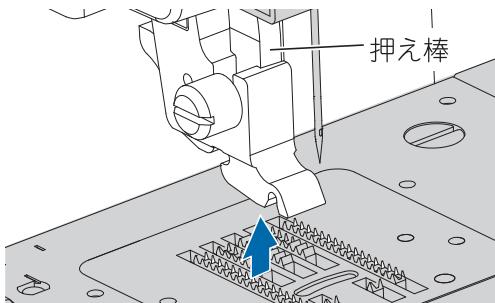
押えホルダーが外れます。

糸と針の選び方

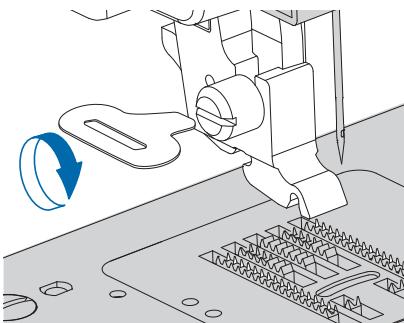
糸と針は、布地の種類や厚さに合わせて選びます。

●取り付け

- 押えホルダーを押え棒の下から突き当たるまで持ち上げます。



- 付属の針板用ドライバーで、押えホルダー止めネジをしっかりとしめます。



お願い

市販の大きなドライバーなどあまり強くしつけないでください。故障の原因となります。

i お知らせ

このミシンに付属している以外の針については、市販の家庭用ミシン針 HA × 1、HA × 1SP（ニット用針）をお買い求めください。

布地の種類		糸の番号	針の番号	模様（直線）とぬい目長さ (29ページ参照)
薄地	薄地ジョーゼット、ボイル、オーガンジー、タフタ、絹布など。	綿 80～100 絹 60～80 化繊糸 80～100	9～11番	1 2 3 ぬい目長さ 0.8～2.5
普通地	ギンガム、ピケ、リンネル、さらさ木綿、薄手のコーデュロイ、サテン、別珍、一般服地など。	綿 50～80 絹 50 化繊糸 50～80	11～14番	1 2 3 ぬい目長さ 2.0～3.0
厚地	ギャバジン、ツイード、デニム、キルティング、コーデュロイなど。	綿 30～50 絹 50 化繊糸 30～60	14～16番	1 2 3 ぬい目長さ 2.0～5.0
伸縮性の布地	ダブルニット、トリコット、スパンデックス、ジャージなど。	化繊糸 50～80 絹 50 ニット用糸	11～14番 ニット用針	4 5 6 ぬい目長さ 2.0～5.0